

政策研究大学院大学
2023年度 財務報告書

Financial Report 2023



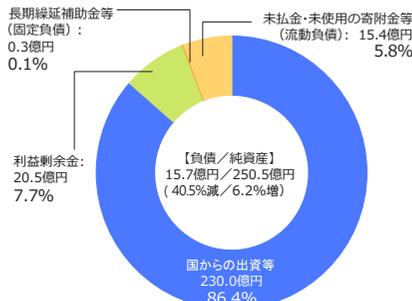
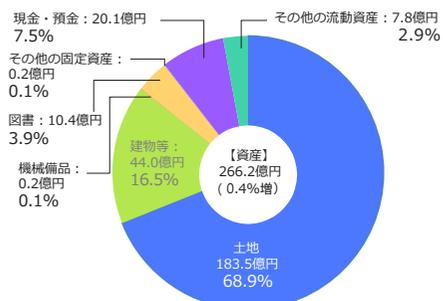
Contents

- 01 1. GRIPSの活動を支える資金とお金の概要
- 02 2. インプット(受入額)の概要
- 03 3. アウトプット(運営状況)の概要
 - 財産(資産)と負債
 - 収益と費用
- 07 4. お金の流れ(収支の現状)
- 08 5. 国の会計基準に沿った決算の状況

1. GRIPSの活動を支える資金とお金の概要

2022年度末の土地や建物の保有、国からの出資や借入金などの財務状況

～2022事業年度 貸借対照表の概略・構成比率(2023.3.31現在)



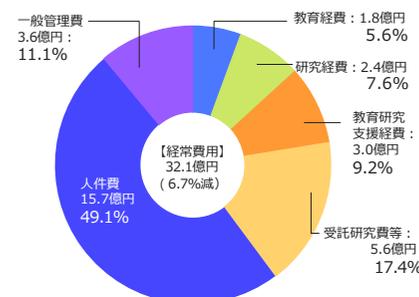
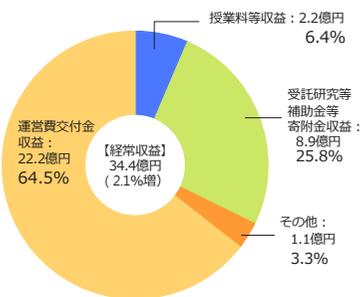
○ 2022年度末の資産は、266億20百万円 (対前年度比+103百万円)、負債は、15億68百万円 (同▲10億68百万円)、純資産は、250億52百万円 (同+14億62百万円)。

○ 本学の業務を行うために必要な財産 (資産) は、主に国から出資されたものなど (純資産) で約9割を占め、残り1割が国からの交付金、寄附金等により取得したもので構成されています。

2022年度の財務運営状況 (入ったお金と使ったお金) *

～2022事業年度 経常収益・経常費用の概略・構成比率 (2022.4.1～2023.3.31)

○ 2022年度における経常収益は、34億45百万円 (対前年度比+72百万円)、経常費用は、32億7百万円 (同▲2億30百万円)。



○ 経常収益の構成は、運営費交付金収益が65%、授業料等収益が7%を占めています。また、受託研究等・補助金等・寄附金収益は26%となっております。

○ 経常費用の構成は、人件費で5割(49%)を占め、教育研究経費 (教育経費・研究経費・教育研究支援経費) が2割 (23%)、一般管理費が1割 (11%) となっております。

※国立大学法人では、運営費交付金、授業料等、受託研究等、補助金等、寄附金は、そのお金を受領しても直ちに収益としては計上されません。これらの資金は一旦負債計上し、その後、教育研究活動等の費用として使われ、法人の業務が進行することにより収益へ振り替えられます。これを「収益化する」といいます。受け入れた (負債計上した) 資金の全てが当該年度に収益化されないことがあるため、各年度の「収入額」と「収益化額」とは、必ずしも一致しません。

2. インプット(受入額)の概要

国からの主な財政投入

○ 2022年度の運営費交付金収入 (キャッシュ・フローベース) は、22.2億円 (対前年度+94.4百万円、+4.4%)

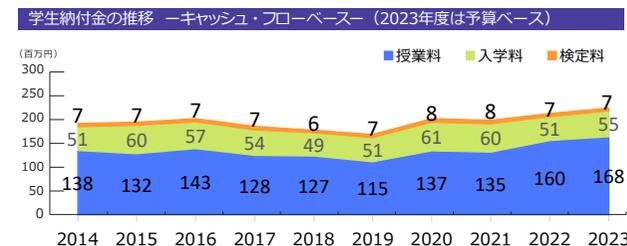


※上図は、一般運営費交付金 (基礎的な運営費交付金)、機能強化経費 (教育研究活動の機能強化に要する経費) 及び特殊要因経費の年次推移を示しています。(2014年度～2022年度は実績、2023年度は予算ベース)

学生納付金

○ 学生納付金は、右図のとおり毎年約2.0億円程度 (運営収入の9%程度)

※学生納付金の額は「国立大学等の授業料その他の費用に関する省令」による「標準額」を踏まえ、一定の範囲内で各法人が、その額を決定することとなっています。(授業料 (年額) 642,960円)

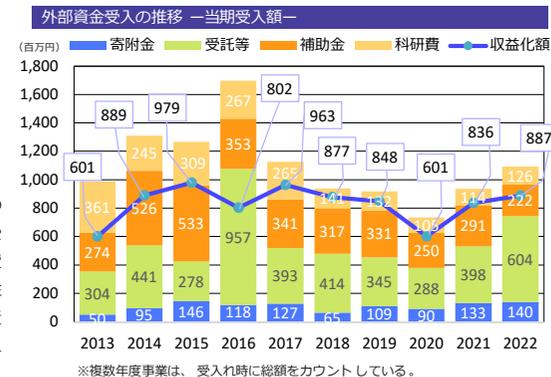


外部資金受入

○ 科研費及び補助金を加えた受入額は、10.9億円 (対前年度+1.5億円、+17.6%)

○ 外部資金 (科研費及び補助金を除く) の受入額は7.4億円 (対前年度+2.1億円、+40.3%)

外部資金には、企業等のみなさまなどからの寄附金、文部科学省を含む各府庁等からの受託事業などがあります。毎年、基礎的運営費交付金が減少していく中、教育・研究の活性化と運営の安定化のためには、このような資金がますます重要なものとなって考えています。



※複数年度事業は、受入れ時に総額をカウントしている。

3. アウトプット(運営状況)の概要

1 財産(資産)と負債

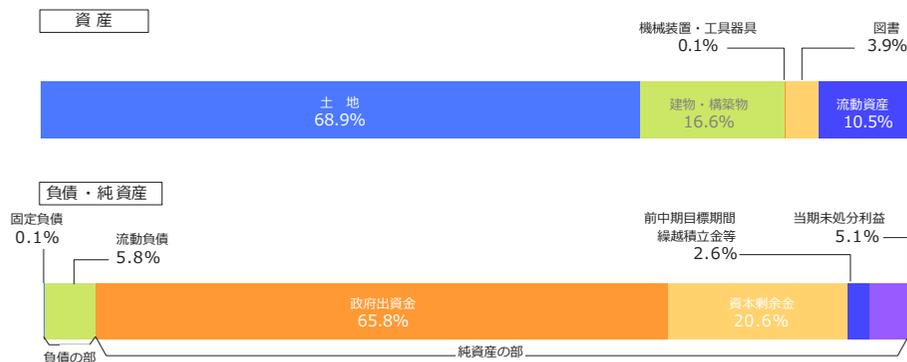
貸借対照表 (Balance Sheet)

期末における資産、負債及び純資産の残高を示し、本学の財政状態を表すものです。

負債の部と純資産の部は「資金の調達源泉」を、資産の部は「調達された資金の運用形態」を示しています。

- 資産の部・・・土地・建物などの固定資産が大半を占めています。
- 負債の部・・・寄附金債務などの流動資産が大半を占めており、計画的な支払等を通じ安定した財務運営に努めています。
- 純資産の部・・・負債・純資産合計の94%を占めており、そのうち66%は政府出資金です。

2022年度 資産・負債・純資産の構成内訳 (単位：%)



貸借対照表

(単位：百万円)

勘定科目	2021年度	2022年度	増減
資産の部	26,518	26,620	102
固定資産 ^{※1}	24,027	23,830	▲197
土地	18,351	18,351	-
建物	4,553	4,367	▲186
構築物	39	36	▲3
機械装置	0	0	-
工具器具備品	37	24	▲13
図書	1,023	1,034	11
特許権仮勘定	-	1	1
ソフトウェア	23	16	▲7
電話加入権	1	1	-
流動資産	2,491	2,790	299
現金及び預金	1,872	2,008	136
未収学生納付金収入	2	1	▲1
その他の未収金	610	766	156
その他の流動資産	9	15	6
負債の部	2,495	1,568	▲927
固定負債	1,155	28	▲1,127
資産見返負債 ^{※2}	1,139	0	▲1,139
長期繰延補助金等	-	20	20
長期前受委託研究費	16	8	▲8
流動負債	1,340	1,540	200
運営費交付金債務	-	1	1
寄附金債務	408	463	55
未払金	537	474	▲63
その他の流動負債	395	603	207
純資産の部	23,881	25,052	1,171
政府出資金	17,507	17,507	-
資本剰余金	5,666	5,492	▲173
利益剰余金	709	2,053	1,344
前中期目標期間繰越積立金 ^{※3}	150	696	546
教育研究積立金	268	-	▲268
当期末処分利益	291	1,357	1,066

※単位未満を四捨五入して記載しているため、合計額などが合わない場合があります。

国から受け入れた運営費交付金、学生から納付された授業料及び企業等から受け入れた寄附金は、受領時に収益とするのではなく債務として流動負債へ計上します。これは、教育や研究など、交付額や受領額に見合う一定の事業を実施する義務を負っていることによります。これらの債務は、機関の経過や事業のための支出額等に伴い、収益化されます。

【貸借対照表に関する特記事項】

- (※1) 固定資産 ▲197百万円：建物等の減価償却による減少
- (※2) 資産見返負債 ▲1,139百万円：国立大学会計基準の改定に伴う減少
- (※3) 前中期目標期間繰越積立金546百万円：第3期中期目標期間からの繰越に伴う増加

3. アウトプット(運営状況)の概要

2 収益と費用

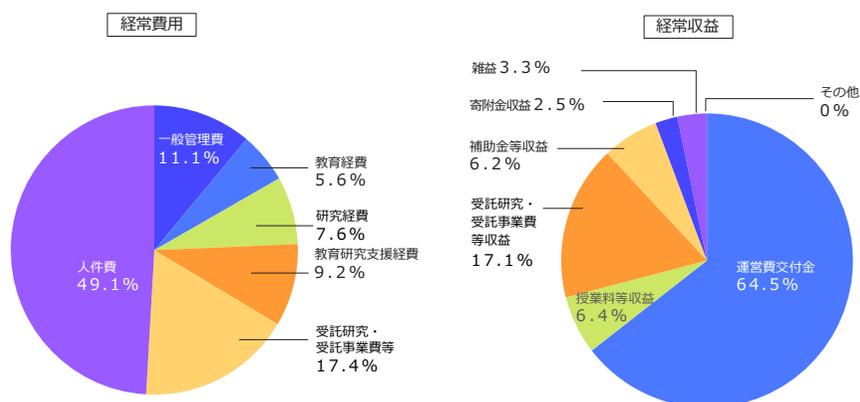
損益計算書 (Profit and Loss Statement)

会計期間に費用、収益がどれだけ発生したかを表すものです。

国立大学法人が教育・研究等の業務を実施することにより、どのような費用が生じ、その費用によりどのような収益が生じ、その結果、どのような利益あるいは損失が生じたかという状況を明らかにしています。

なお、研究者個人に交付された科学研究費補助金等は含まれていません。

2022年度 経常費用・経常収益の構成内訳



収益と収入の違いとは？

- 収益・費用・・・発生主義会計
- 収入・支出・・・現金主義会計

収益があるが、収入でないもの (例) 利息等の未収収益	収入であるが、収益でないもの (例) 手付金等の前受収益
支出であるが、費用でないもの (例) 家賃等の前払費用	費用であるが、支出でないもの (例) 減価償却費

損益計算書

(単位: 百万円)

勘定科目	2021年度	2022年度	増減
経常費用	3,437	3,207	▲230
業務費	3,101	2,851	▲251
教育経費	170	181	11
研究経費	287	243	▲44
教育研究支援経費	562	295	▲267
受託研究費	353	472	119
共同研究費	1	1	0
受託事業費等	92	83	▲9
人件費	1,637	1,574	▲62
一般管理費	335	356	21
経常収益	3,373	3,445	72
運営費交付金収益	2,211	2,222	10
授業料等収益	220	222	2
受託研究収益	379	487	107
共同研究収益	1	2	1
受託事業等収益	122	100	▲22
補助金等収益	263	214	▲49
寄附金収益	71	85	14
施設費収益	-	-	-
資産見返負債戻入	14	-	▲14
財務収益	0	0	0
雑益	92	113	21
経常利益	▲64	237	301
臨時損失	0	0	0
臨時利益	14	1,118	1,105
当期純利益	▲50	1,356	1,406
目的積立金取崩額	341	2	▲340
当期総利益 ^{※1}	291	1,357	1,066

※単位未満を四捨五入して記載しているため、合計額などが合わない場合があります。

(※1) 当期総利益:

- この利益は、資金の裏付けのある利益であり、文部科学大臣の経営努力認定を受けることによって目的積立金として積み立てることができます。

4. お金の流れ(収支の現状)

キャッシュ・フロー計算書 (Cash Flow Statement)

会計年度における資金（キャッシュ）の流れ（フロー）に着目し、一定の活動区分として表示した計算書です。「貸借対照表」や「損益計算書」からは読み取ることのできない、資金の流れや過不足を表すものです。

損益計算書が当期に発生した費用及び収益を表しているのに対し、費用及び収益とは無関係の借り入れや出資の追加なども含めて「現金の受け払い」の事実を認識・測定するものであり収入（プラス）、支出（マイナス：▲）という区分で表示されます。

科目	2021年度	2022年度	増減
(単位：百万円)			
I 業務活動によるキャッシュ・フロー	▲295	264	559
原材料、商品又はサービスの購入による支出	▲1,185	▲925	260
人件費支出	▲1,963	▲1,968	▲6
その他の業務支出	▲344	▲361	▲16
運営費交付金収入	2,128	2,223	94
学生納付金収入	208	217	9
受託研究収入・受託事業等収入	300	419	119
補助金等収入	213	227	13
寄附金収入	123	135	12
その他の業務収入	87	111	24
預り金の増減	137	196	59
国庫支出金の支払額	-	▲10	▲10
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	▲13	273	285
有形固定資産及び無形固定資産の取得による支出	▲13	▲127	▲115
定期預金の払戻による収入	800	800	0
定期預金の預入による支出	▲800	▲400	400
施設費による収入	-	-	-
利息及び配当金の受取額	0	0	0
III 資金増減額	▲308	537	844
IV 資金期首残高	1,379	1,072	▲308
V 資金期末残高	1,072	1,608	537

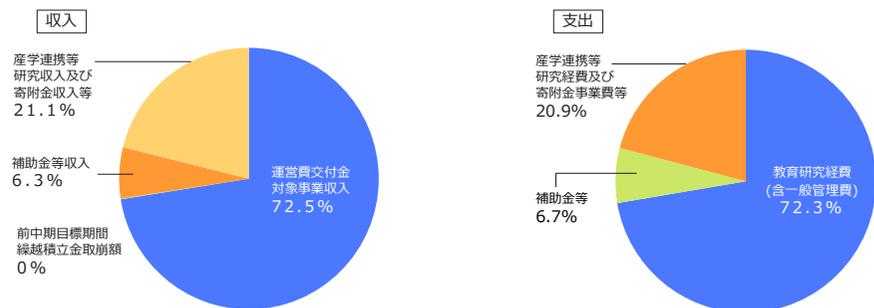
※単位未満を四捨五入して記載しているため、合計額などが合わない場合があります。

5. 国の会計基準に沿った決算の状況

決算報告書 (Earnings Statement)

この報告書は、国における会計認識の基準（現金主義＋出納整理期）に準じて作成することとされており、国立大学法人の運営状況の見込みとその実績を表すものです。具体的には、年度計画における予算額（文部科学省から示される運営費交付金算定上の予算額等を基に算定したもの）と実際に執行した決算額を対比しています。なお、研究者個人に交付された科学研究費補助金等は含まれていません。

2022年度 収入決算額及び支出決算額の内訳



(単位：百万円)

区分	予算額	決算額	増減
【収入】			
運営費交付金	2,100	2,223	122
補助金等収入	-	219	219
自己収入	303	291	▲12
授業料、入学金及び検定料収入	231	217	▲13
雑収入	73	74	2
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	252	733	480
前中期目標期間繰越積立金取崩額	-	3	3
計	2,656	3,469	813
【支出】			
業務費	2,404	2,291	▲113
教育研究費	2,404	2,291	▲113
補助金等	-	214	214
産学連携等研究経費及び寄附金事業等	252	663	410
計	2,656	3,167	511

※単位未満を四捨五入して記載しているため、合計額などが合わない場合があります。



政策研究大学院大学 2023年度 財務報告書

国立大学法人政策研究大学院大学
〒106-8677 東京都港区六本木7-22-1
TEL : 03-6439-6000 (代表) FAX : 03-6439-6010 (代表)
URL : <http://www.grips.ac.jp/>